

広報

いちき串木野

R7. 9. 22 発行

9

vol. 239

未来と笑顔を守る
まちづくり継続中!!

特集

- ①みらいトーク開催
- ②公共交通再編



いちき串木野市公式LINE

イベント情報など配信中！ぜひご登録ください



みらいトーク2025

6月23日から8月6日にかけて、市内16地区で、地域の皆様と市の現状・未来について話し合う“みらいトーク2025”を開催し、延べ566名の方が参加されました。

会では、市から人口減少と少子化の現状や未来への取組、中学校再編や小学校の現状、洋上風力発電の現況などを説明し、参加者からは、それに対する意見や質問、地域課題への要望などがありました。

会で説明した内容や主な質問は以下のとおりです。詳細な内容は、右の二次元コードから市ホームページをご覧ください。



開催日	地区	参加者数
6月23日	荒川	37人
6月26日	旭	27人
6月30日	冠岳	24人
7月1日	川上	22人
7月2日	湊	32人
7月3日	生福	46人
7月7日	湊町	23人
7月8日	上名	16人
7月11日	大原	27人
7月14日	川北	35人
7月18日	川南	38人
7月22日	本浦	48人
7月29日	中央	59人
8月1日	照島	52人
8月5日	羽島	35人
8月6日	野平	45人
合計		566人

第1章 市政報告

1 人口減少と少子化の現状と課題

本市の人口は加速度的に減少し、2040年には2万人を割り込む見込みです（図1）。出生数（図2）と20・30代の女性（図3）がここ10年で急減し、人口減少の大きな要因になっています。

本市の人口の推移

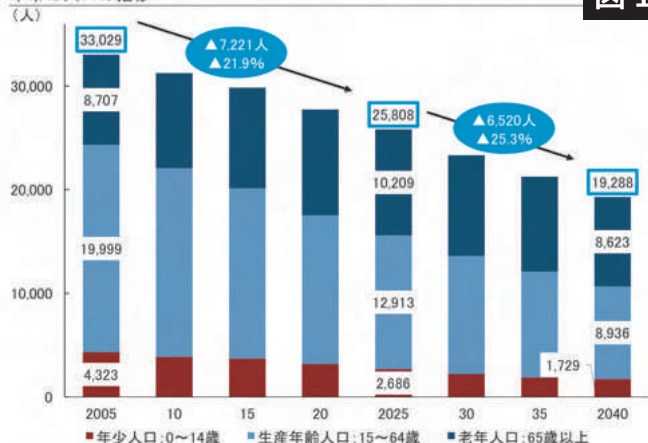


図1

自然動態（出生と死亡による変化）の推移

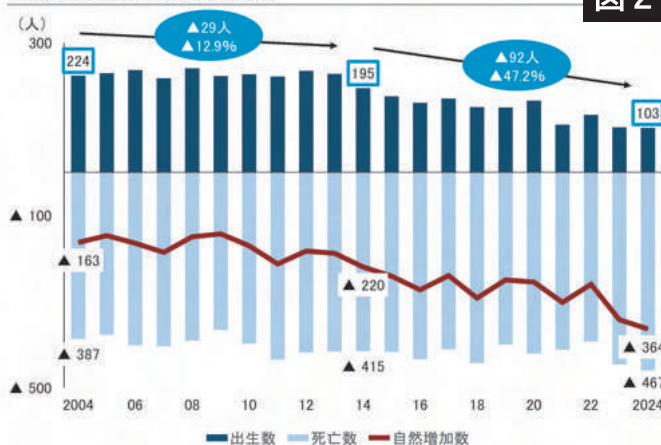


図2

20・30代女性人口（日本人のみ）の推移

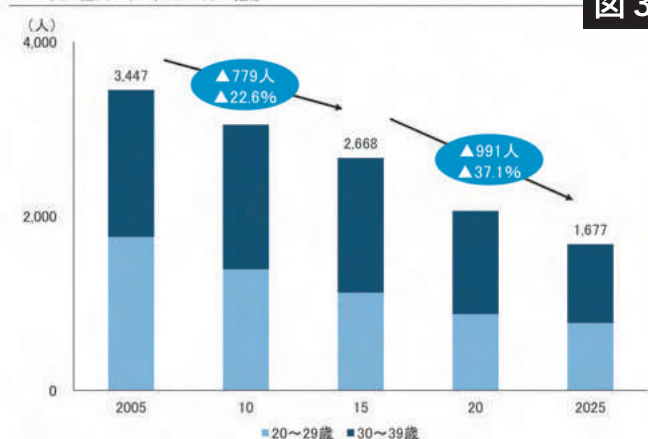


図3

人口減少がもたらす懸念

- ① 経済の衰退
L 各産業の働き手が不足
- ② 地域活動の停滞
L 地域コミュニティの担い手が不足
- ③ 日常生活の支障
L 生活・交通インフラの維持が困難に

粘り強い少子化対策
まちの魅力づくり

2 子どもへの投資・まちの魅力

人口減少・少子化対策のために令和5年度から若い世代への支援を重点的に取り組んでいるところです。

3つの無償化による
経済的な負担の軽減

学校給食費無償

保育料無償

子ども医療費無償

子育てと仕事の両立支援

男女共同参画の推進

イクボス企業応援助成金

女性活躍の推進

薩摩スチューデント
奨学プログラム

低金利のローン
奨学金の返還支援

定住促進補助金

最大300万円 実績60件

外国人留学生支援

留学生の学費等を
支援する企業に補助

取り組みによる変化

これらの取り組みで、令和5年から転入超過、乳幼児の転入が進むなどの成果が現れてきています。

合併後、転出超過が継続していたが、ここ2年間転入超過に転換。
社会動態(転入と転出による変化)の推移



図4

乳幼児の転入増加

図5

乳幼児の転入増加により、どの学年も出生時よりも増加。

出生時人口と2024年度末人口の比較

77人増

2025年3月末の年齢	出生時	2025年3月末	出生時からの増減
1歳児 (2023年度生)	93人	97人	+4人
2歳児 (2022年度生)	138人	157人	+19人
3歳児 (2021年度生)	117人	143人	+26人
4歳児 (2020年度生)	144人	160人	+16人
5歳児 (2019年度生)	159人	159人	+0人
6歳児 (2018年度生)	147人	159人	+12人
計	798人	875人	+77人

保育料の無償化により、1～3歳児の転入が増加

ここ2年間で、1～3歳児の兄弟・姉妹(4～6歳)の転入も増加

3 未来につながる投資の推進

将来的に魅力あるまちを残していくために、取り組んでいます。

① 洋上風力発電構想の実現

事業実現に向け、県から国へ情報提供を実施

② 長崎鼻公園リニューアル

幅広い世代の憩いの場として、屋内遊技場や広場を再整備

③ 串木野駅周辺の再開発

プリマハムの跡地の活用、駅東口の可能性などを調査



串木野駅周辺の再開発

④ 安茶工業団地

雇用と投資を呼び込むため、新たな企業立地のための工業団地を整備

⑤ 旧冠岳小学校跡地の活用

校舎を解体し、スポーツ娯楽施設やバーチャルスポーツができる空間の整備

⑥ 沖ノ浜一帯の構想

吹上浜フィールドホテル一帯を自然や景観を活かした魅力づくりを検討



沖ノ浜一帯の構想

第2章 市政重点事項

1 洋上風力発電構想

① なぜ市として洋上風力発電を進めるのか

国が再生可能エネルギーの導入を推進しており、本市も環境に配慮し脱炭素を目指すべく、再エネ導入を図っている。その中で、本市沖合の「風」を活かした洋上風力発電によって、経済波及効果や税収増などを期待できるため。

② 期待される効果

漁業

- ・経営安定化（風車の蛸集効果、海洋牧場計画）
- ・後継者確保（スマート漁業、水産物の高付加価値化）

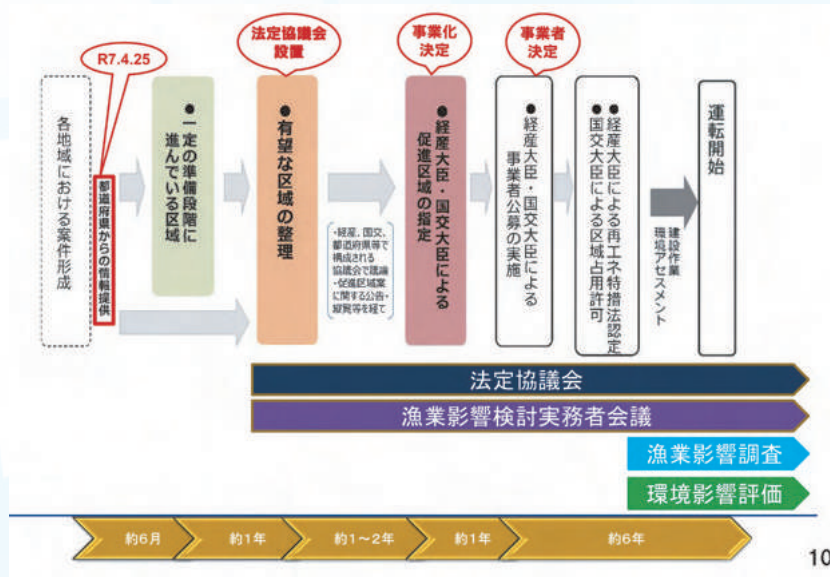
産業・エネルギー

- ・新たな産業創出（保守管理、雇用創出）
- ・エネルギーの地産地消（安定した電力供給、脱炭素）

経済波及効果・税収

- ・経済波及効果 212 億
- ・雇用創出効果 3,401 人
- ・税収 年12億
- ※固定資産税、法人税

今年4月に県から国へ本市沖合の情報提供がなされ、国や第三者委員会で審査が行われています。今後、有望な区域に整理された場合、法定協議会の設置・協議がなされ、促進区域として指定、事業者の公募・決定を経て、運転開始まで約10年が見込まれています。洋上風力に対する不安や懸念は適宜、国への見解を求め、その結果を皆様にお知らせします。



2 中学校再編と小学校の現状

① 中学校再編

令和8年4月から串木野中学校、串木野西中学校、羽島中学校、生冠中学校の4校が統合され、（新）串木野中学校が誕生します。生徒数 305 人 → 457 人、各学年4クラス、特別支援学級7クラス

■ 決定事項

- ・制服 ブレザー ※現在着用する制服は令和8年度以降も着用可
- ・スクールバス 平日3路線、土日長期休暇2路線。部活動にも対応
- ・部活動 統合前4校で活動していた12部活動を設置
- ・教育 オンライン英会話やALTの増員など「使える」英語教育の推進

■ 整備内容

- ・スクールバス停留所
- ・トイレの洋式化
- ・特別教室の空調整備
- ・教室改修などの施設整備

② 小学校の現状

今後大幅な児童数の減少が見込まれることから、保護者アンケートを実施し、小学校の検討を行います。

■ 児童数推移

令和7年度 1,034 人 → 令和13年度 837人

■ 6年後の小学校

- ・令和12年度以降、入学者が100人余りと極端に減少
- ・全8校のうち5校が2～3学級に
- ・うち4校が全学年5人以下
- ・うち2校が全校児童5人以下

第3章 意見交換会

■ 市の未来

皆様から出された意見の一部を紹介します。その他の質問等は、市ホームページ（右の二次元コード）からご覧ください。



質問	市の回答
少子化対策では、外部から人に来てもらうことも必要だと思うが、人を増やすためにこういった施策をし、アピールをしているのか教えてほしい。	子育て世代の負担軽減に取り組んでいるが、今の住民に住み続けてもらうこと、そして市外からも来てもらうことが大切だと思っています。また、若い女性が地元で働いていけるかがポイントだと思っており、女性活躍推進事業でITスキルを習得するなどして、色々な働き方を増やす取り組みを行っています。もう一つは創業支援。男女問わず起業に向けた研修を行う別の事業も動き出しているので、継続していきたいです。
3つの無償化など多くの事業を実施しているが、財政的に大丈夫か。	ふるさと寄附金の約半分を、翌年度以降の事業に活用するために積み立てています。その基金を運用して、3つの無償化など未来への投資に使っていきます。また、過疎対策事業債という、7割は国が負担し、市は実質3割負担で事業ができる有利な借入れも活用して取り組んでいます。

■ 市民生活

市営住宅の入居条件緩和は、法律に沿っているためなかなかできないと聞いている。市長会で要望すると回答されていたが、どうなったか。	市営住宅の入居条件は国の法律で決まっているため、全国の市長が集まる市長会でも法改正して条件緩和を要望しているが、まだ反映されていない状況です。中々時間がかかるものだとご理解いただきたいと思います。
自治公民館のあり方について、担い手不足などに対してなかなか名案が出ず、消滅していくのを待っているという状態。知恵や力を貸してもらいたい。	小さい地域になると10世帯もない地域もあり、その中で公民館長や会計役員をする形では、持続的な運営は難しいと思います。それを念頭に、地区単位のまちづくり協議会という組織の中で、役割分担しながらやっていくのがいいのではと考えています。人口減少が進む中で、我がまちを守っていくためにこういったことをするべきか併せて考えていかなければならないと思っています。皆様と意見交換をする中で知恵を出し合っていきたいです。
自主防災組織を生福地区では2公民館が組織していて、公民館長が主体となっているが、1～2年で変わり、まち協の役員も変わってしまう。防災士の資格を持つ方を地域に増やしたらどうか。市でそういった取り組みはできないか。	市では、毎年地域防災リーダーの研修を行っています。自主防災組織は、地域の役員の方に主な役割を担っていただいております。1～2年で変わられるが、地域には残っていられちゃうと思うので、そういった方や資格を持つ方が後任の方にアドバイスをしていくことが望ましいと考えています。防災士は、現在市内に約30人いらっしゃいます。ぜひ防災の資格を取得していただきたいと思います。

■ 小・中学校再編、教育関係

中学校の再編で、他市の中学校で自殺する事件があった。小規模校の子が大規模になったらどうなるかも考えてほしい。	統合されて生徒の人数が増えるということに不安を持つ生徒さんもいらっしゃると思います。子どもたちの不安を取り除くことを一番に考えていきたいです。学校環境の中では、串木野中学校では、支援室を作っています。統合するにあたって、学校になじめない子どもたちに寄り添って進めていきたいです。
農業をしており、他市の学校の子たちは田舎で体験してくれているが、地元の子がそういう経験をする機会がない。いつでも声をかけてくれたら出前講座を行う。農業の大切さや現状を知ってほしい。	学校では、子どもたちへは職場体験をしているが、農業体験などに中々目が向かない状況で、川上小・照島小では餅を作って食べたりしているが、田植え等は体験できていないです。農泊は中学生には厳しいかもしれないが、他県からの修学旅行生の誘致など取り組みを考えていきます。有機農業、有機野菜を給食に取り入れてほしいという声なども出ているので、学校給食でも努力していきます。

市内公共交通を再編します

～10月1日から市内の公共交通が変わります～

具体的な再編内容を掲載します

先月号にて、市内公共交通の再編を行い、10月1日よりいきいきバスやいきいきタクシーなどの路線や便を変更することをお知らせしました。

今月号では、具体的な路線の時刻表やバス停などをお知らせします。なお、いきいきバス・いきいきタクシー等の利用の仕方については、随時出前講座を開催しています。気軽にお問い合わせください。なお、詳細は、右の二次元コードをご確認ください。

●問合せ 水産商工課 ☎33-5638



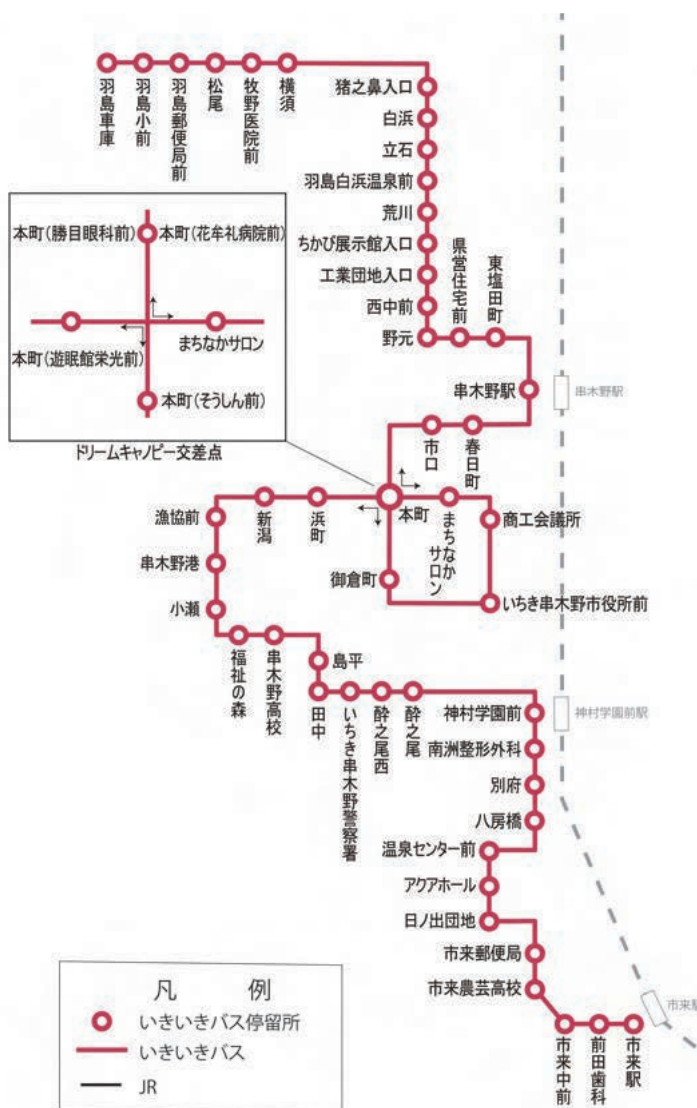
再編内容

① 新しいいきいきバス（既存のバス路線の統合）

統合路線 いきいきバス羽島荒川線、木原基地線、鹿児島交通路線バス羽島土川線

運行日 毎日（土曜日曜祝日は減便・1月1日～3日運休）

路線図



時刻表（主なバス停）

① 羽島車庫 → 串木野駅 → 市来駅

種別	○	○	○	○
バス停名	1便	2便	3便	4便
羽島車庫前	6:50	9:30	13:00	16:00
羽島郵便局前	6:51	9:31	13:01	16:01
羽島白浜温泉前	6:57	9:37	13:07	16:07
荒川	6:59	9:39	13:09	16:09
野元	7:07	9:47	13:17	16:17
東塩田町	7:10	9:50	13:20	16:20
串木野駅	7:13	9:53	13:23	16:23
本町(花牟礼病院前)	7:17	9:57	13:27	16:27
商工会議所前	7:19	9:59	13:29	16:29
市役所前	7:20	10:00	13:30	16:30
本町(遊眠館栄光前)	7:22	10:02	13:32	16:32
新潟	7:23	10:03	13:33	16:33
漁協前	7:24	10:04	13:34	16:34
福祉の森	7:27	10:07	13:37	16:37
島平	7:29	10:09	13:39	16:39
酔之尾	7:32	10:12	13:42	16:42
神村学園前	7:33	10:13	13:43	16:43
ふれあい温泉センター	7:38	10:18	13:48	16:48
アクアホール	7:39	10:19	13:49	16:49
市来農芸高校	7:42	10:22	13:52	16:52
市来駅	7:45	10:25	13:55	16:55

② 市来駅 → 串木野駅 → 羽島車庫

種別	○	○	○	○
バス停名	1便	2便	3便	4便
市来駅	8:15	10:55	14:25	17:33
市来農芸高校	8:18	10:58	14:28	17:36
アクアホール	8:21	11:01	14:31	17:39
ふれあい温泉センター	8:22	11:02	14:32	17:40
神村学園前	8:27	11:07	14:37	17:45
酔之尾	8:28	11:08	14:38	17:46
島平	8:31	11:11	14:41	17:49
福祉の森	8:33	11:13	14:43	17:51
漁協前	8:36	11:16	14:46	17:54
新潟	8:37	11:17	14:47	17:55
本町(そうしん前)	8:38	11:18	14:48	17:56
市役所前	8:40	11:20	14:50	17:58
商工会議所前	8:41	11:21	14:51	17:59
本町(勝目眼科前)	8:43	11:23	14:53	18:01
串木野駅	8:47	11:27	14:57	18:05
東塩田町	8:50	11:30	15:00	18:08
野元	8:53	11:33	15:03	18:11
荒川	9:01	11:41	15:11	18:19
羽島白浜温泉前	9:03	11:43	15:13	18:21
羽島郵便局前	9:09	11:49	15:19	18:27
羽島車庫	9:10	11:50	15:20	18:28

○は土日祝日運休

② 現行のいきいきタクシー冠岳・生福・上名線の改称・エリア拡大

冠岳・生福・上名線を串木野東部線に改称し、同路線に木原墓地・八房・海瀬のエリアを編入します。
串木野市街地から木原墓地、脳神経外科センター、三井串木野パークゴルフ場、冠岳温泉などへご利用ください。

●名称 いきいきタクシー串木野東部線（木原墓地、八房、海瀬、冠岳・生福・上名）

●便・時刻表

① 串木野市街地から木原墓地・八房・海瀬・冠岳・生福・上名行き

出発場所（市街地）	便	市街地バス停 出発時間				木原墓地・八房・海瀬・冠岳・生福・上名 到着時間			到着地（郊外地）
市街地の 指定バス停	1	9:00	～	9:15	➡	9:30	～	10:00	冠岳・生福・上名・ 木原墓地・八房・ 海瀬のご希望の場所
	2	10:30	～	10:45	➡	11:00	～	11:30	
	3	12:00	～	12:15	➡	12:30	～	13:00	
	4	17:45	～	18:00	➡	18:15	～	18:45	

② 木原墓地・八房・海瀬・冠岳・生福・上名から串木野市街地行き

出発場所（郊外地）	便	木原墓地・八房・海瀬・冠岳・生福・上名 出発時間				市街地バス停 到着時間			到着地（市街地）
冠岳・生福・上名・ 木原墓地・八房・ 海瀬のご希望の場所	1	6:45	～	7:00	➡	7:15	～	7:45	市街地の 指定バス停
	2	9:00	～	9:15	➡	9:30	～	10:00	
	3	12:00	～	12:15	➡	12:30	～	13:00	
	4	14:30	～	14:45	➡	15:00	～	15:30	

③ 荒川地区にいきいきタクシー

いきいきバス路線の統合により路線がなくなる荒川地区にいきいきタクシーを運行します。

●名称 いきいきタクシー荒川線

●便・時刻表

① 荒川地区（郊外地）から市街地行き

出発場所	便	荒川地区出発時間				市街地バス停 到着時間			到着地
荒川地区の ご希望の場所	1	8:00	～	8:15	➡	8:20	～	8:35	市街地の 指定バス停
	2	9:30	～	9:45	➡	9:50	～	10:05	
	3	14:00	～	14:15	➡	14:20	～	14:35	

② 市街地から荒川地区（郊外地）行き

出発場所	便	市街地バス停 出発時間				荒川地区到着時間			到着地
市街地の 指定バス停	1	11:30	～	11:45	➡	11:50	～	12:05	荒川地区の ご希望の場所
	2	13:30	～	13:45	➡	13:50	～	14:05	
	3	16:30	～	16:45	➡	16:50	～	17:05	

②・③いきいきタクシー共通

- ・市街地（バス停）と郊外地の往復になります。市街地間の移動はできません。
- ・ご利用には出発時間の1時間前までの予約が必要です。郊外地発の朝の第1便は前日の20時までの予約（予約：第一交通 ☎32-2128）
- ・1回のご利用は300円（小学生以下及び障害者等手帳提示者150円）。
- ・他の利用者との乗合になります。

④ 羽島地区に公共ライドシェアを導入します

バス路線の廃止に伴い、交通空白地となる羽島地区に新たに公共ライドシェアを運行します。

●運行日 毎日（土日祝日は減便）

●運行経路 土川、下山、平山、万福 ⇄ 羽島車庫（いきいきバスに接続）

※土曜日のみ：羽島地区（各バス停にて乗降） ⇄ 串木野市街地（バス停にて乗降）も追加で運行
（2便1往復のみ）

20周年を祝う

～いちき串木野市誕生 20 周年～

10 月 11 日のいちき串木野市誕生 20 周年に向けて、市民の皆さんとともに祝い、今後の市勢の発展につながるさまざまな催しを予定しています。このシリーズでその詳細や進捗をお伝えします。



いよいよ市制施行 20 周年記念式典を開催します。

10 月 11 日（土）に、記念式典をいちきアクアホールにて開催します。オープニングアトラクションをはじめ、各種表彰、記念動画上映などを行う予定です。市民の皆さまのご来場をお待ちしています。

● 20 周年記念式典タイムスケジュール

時 間	内 容
8：20～9：00	受付
9：00～9：45	オープニングアトラクション
10：00～11：00	開式のことば・式辞・挨拶
	名誉市民表彰・市民表彰
	来賓祝辞・来賓紹介・祝電披露
11：00～12：15	市公式キャラクターデザイン者表彰
	いちき串木野ふるさとPR大使委嘱状交付
	記念動画上映「AIでつながるまち、いちき串木野市」
	「未来共創プロジェクト」記念事業発表
	市民歌合唱
	閉会のことば



市公式キャラクター
いちくっしー

＋ 洋上風力発電 ＋

8. みらいトーク 2025 での洋上風力発電構想に関する主な質疑応答

6 月末から 8 月上旬にかけて、市内 16 地区（参加者総勢 566 人）で、みらいトーク 2025（市政報告会）が開催されました。その中で市の重点施策として「洋上風力発電構想」について説明を行いました。ご意見の多かった質問と回答についてご紹介します。（下表のとおり）

項目	質問（市民）	回答（市）
風車	台風で風車が壊れないか？	各種法令に基づく技術基準に適合した風車が設置されます。
	事故が起きた場合、市は関与しないのか？	基本的に法令に基づき国が対応することになりますが、市も原因究明を求めています。
地域振興	再エネ賦課金が高くなるのでは？	再エネ海域利用法に基づき、発電事業者を公募により決定します。その中で売電価格を決定するため、必ずしも高くなるわけではありません。
	風車 1 基で何世帯の電気を賄えるのか？	10 MW 風車の場合、年間発電量が約 2,628 万 Kwh で、これを鹿児島県 1 世帯当たりの年間消費電力 3,433 Kwh で割ると、7,655 世帯相当になります。
環境影響等	漁業への影響があるのでは？	建設前から運転開始後も、漁業影響調査が行われます。
	健康被害等が心配である。	環境影響評価法に基づき、必要な調査・予測・評価が行われ、その結果に対する意見を聴き、適切な環境配慮がなされます。
その他	事業費は市が負担するのか？	発電事業者がすべてを負担し、市の負担はありません。
	風車の撤去、災害時の責任の所在は？	運転開始から撤去まで、また災害時の対応はすべて発電事業者が行います。

※なお、上記の質疑・回答については発言内容を要約したものになります。

食のまちストーリーズ Vol. 25



本市で取り組んでいる「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの珈琲から蔵元の焼酎まで、心がほっとするおいしいものが身近にある、豊かな食文化を誇るまちです。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝くまちにみんなで育てていきましょう。

冠岳の恵みとともに「楽しい」の花を咲かす ～ 食のまちPRパートナー オリジナルミチコ農園 桑木米美さん ～

Text & photo Yasutoshi Kami

皆さんは『食のまちPRパートナー』（以下：PRパートナー）をご存知でしょうか。いちき串木野市では食の魅力発信や食に関するプロジェクト等に積極的にかかわり、市と一緒に「食によるまちづくり」を推進していく仲間として2022年度から個人や団体を登録しています。

今回ご紹介するのは「オリジナルミチコ農園」の桑木米美（くわき・よねみ）さんです。

ゼロからスタートした種まきが、カタチを変え、花咲かす

17年前に冠岳に移住し、有機農業を始めた桑木さん。それまで農業の経験はなく、ゼロからスタートし、悪戦苦闘の日々だったといいます。土や肥料づくりに励みつつ、有機農業に関する知識を身につけては実践の繰り返しだったのだとか。10年経ち、やっと納得のいく野菜が育つようになったと誇らしげに語ります。

令和3年度からは市と連携し「冠岳薬草プロジェクト」をスタート。令和5年度にかけて薬草観察会や、薬草をテーマにした食体験会を実施してきました。今年からは地域住民を含む7名の

チームを結成し、自分たちの力で活動を始め、その中で田んぼで無農薬の米づくりにもチャレンジしているのだそう。

「ありがたいことに冠岳で自生しているよもぎを使った“よもぎ茶”という商品が誕生し、いちき串木野市内で販売を始めることができました。釜炒りにしてもらい、長持ちするようにしています」



冠岳のもたらす恵みとともに、楽しいチャレンジを

PRパートナーでは、今まで出会うことのなかった事業者や地域住民との時間を通して、モチベーションが高まり、チャレンジしたいことが増えてきているのだとか。

「PRパートナーになってから、どのメンバーも自分の置かれてい

る状況でできることに挑戦している姿を見て、思ったんです。私には私にできることがある。難しく考えず、地道にゆっくりいこうって」

そんな桑木さんに今後の展望を聞きました。

「私の夢は冠岳一帯を有機農業の村にすることです。活用できる土地や空き家もありますし、一人じゃなく、みんなで作っていけば数年以内に実現できるんじゃないかとワクワクしています。もちろん、全てが楽しいわけではありません。地球温暖化といった自然環境にも左右されることも多いです。だからこそその危機感もありますし、将来に備えたコミュニティづくりも楽しくしていくことで、冠岳の暮らしや有機農業に興味を持つ人が増えたら嬉しいと思っています」

これまでのおいしい情報、コラムの続きは右の二次元コードからご覧ください。



公式note

8/16 神村学園高等部男子サッカー部 インターハイ優勝



全国高校総体で、神村学園高等部男子サッカー部が優勝を飾りました。

一回戦から強豪相手に粘り強く戦い、決勝戦では、大津高校（熊本）との九州対決を PK 戦で制して、鹿児島県勢初優勝を決めました。

有村監督は「卒業生が築いてきた歴史の中で少しずつ力をつけて、今大会は、選手・スタッフが丸くなってこの結果があると思う。今後も選手権に向けて努力していきたい」と話しました。

後日神村学園へは、市からスポーツで優れた成績を残した団体等を表彰するスポーツ栄誉賞が贈られました。

また神村学園高等部女子サッカー部も同高校総体でベスト 4 に輝いています。

8/11 元プロサッカー選手堂園彩乃さんの サッカー教室開催



元プロサッカー選手で市来サッカースポーツ少年団出身の堂園彩乃さんによるサッカー教室が、Fアリーナいちき串木野で開催され、市内外の小中学生 121 名が参加しました。

教室では、堂園さんから、夢や目標を持つことの大切さやこれまでのプロ生活、海外挑戦での経験談等の講演がありました。

その後は、社会人女子サッカーチーム「ミゴカリッサ鹿児島」所属の松下みなみさん、現役フットサルプレイヤーの鈴有紗さんもゲストとして参加し、ミニゲームを行うなど、プロ選手たちの高い技術力を肌で体感しました。

参加者は「分かりやすく、いろいろ学べてよかった」「元なでしこジャパンの選手とサッカーができてうれしかった」と話しました。

7/21・27 熊本・福岡の杖道大会で優秀な成績



熊本県杖道大会と福岡県杖道大会で、それぞれ本市杖道会の選手が次の通り優秀な成績を残されました。杖道は 400 年続く伝統武道です。本市では串木野中学校武道館で稽古を行っています。

【大会成績】 ※敬称略

- **熊本県杖道大会**（7/21 開催、@熊本県武道館）
 - ・初段の部 3 位 荒田獅竜（串木野中 3 年）
 - ・4 段の部 準優勝 荒田貴行（一般）
- **福岡県杖道大会**（7/27 開催、@福岡県武道館）
 - ・4 段の部 3 位 荒田貴行（一般）

8/31 第 27 回「海の日」マリンスポーツ大会 クリーンフェスティバル



青空の下、B & G 海洋センター艇庫周辺を会場として、第 27 回「海の日」マリンスポーツ大会及びクリーンフェスティバルが開催されました。

クリーンフェスティバルとして五反田川沿いのゴミ拾いを行い、その後にこれまで行われた海洋スポーツ教室の集大成として、カヌーの競争を行いました。また親子のエキシビションマッチも行われ、夏休み最後の思い出に残る楽しいひとときになりました。



8/24

羽島南方神社太鼓踊開催



羽島南方神社境内で、太鼓踊が奉納されました。

この太鼓踊は、羽島の高い山から見えた薩摩川内市東郷町の山田楽を取り入れたともいわれています。色とりどりの矢旗を付けた踊り子は、声高らかに掛け声を響かせ、勇壮に飛び跳ねていました。

8/24

川上踊開催



川上地区の神社など4ヶ所で川上踊が奉納されました。川上踊は五穀豊穡などを願って踊られるもので、小学生から大人まで踊り子達が暑い日差しの中、力強く踊りを披露しました。

また、当日は、川上小学校に勤務された経験を持つ先生方も一緒になって、踊りに参加しました。

8/13

羽島納涼盆踊り大会開催



羽島青年学級主催の「羽島納涼盆踊り大会」が、羽島れいめいふれあい公園にて開催されました。

地域の方やお盆で帰省中の方などで大きな踊りの輪ができました。

7/28
~ 31

甕島で夏休みチャレンジ企画 アドベンチャー in こしき島



青少年事業の取り組みとして、3泊4日で「アドベンチャー in こしき島」が開催されました。

小学5年生から中学3年生までの児童・生徒と高校生ボランティアの総勢37名が参加し、様々な体験活動にチャレンジし、自然豊かな甕島で最高の思い出を作ってきました。

参加した子どもたちからは「甕島はびっくりするくらい暑かったけど、友達と協力して楽しく活動できた」などの感想があり、真夏の甕島でたくましくなってきた帰ってきました。活動風景は、市のホームページ（右の二次元コード）からご覧ください。



8/9

戦後80年記念 「戦争を語り継ぐ会講演会」の開催



市文化協会の主催で戦後80年を記念して「戦争を語り継ぐ会講演会」を開催しました。

会場となった市来地域公民館には、当時の貴重な資料が展示され、参加者は中間啓行氏や中山重雄氏による体験談から、当時の暮らしぶりや戦争の悲惨さなどを知り、平和の尊さを改めて実感しました。

7/26

こども大学夏休み 2025



いちき串木野市国際交流協会では、小学4～6年生を対象としたこども大学を実施しています。

今回は、ALT による英語アクティビティや、留学生によるミャンマー・オランダ・スリランカの文化紹介を通して国際理解を深めるワークショップを開催しました。当イベントの最後には、ノベルティグッズ（提供：第一生命保険株式会社）と修了証の贈呈を行いました。

次回は12月開催予定で、改めて案内しますので、ぜひお申し込みください。

8/23

～わがまちの日本遺産を知ろう～ 三井串木野鉱山(株)の工場見学



三井串木野鉱山(株)の工場見学と砂金採り体験が実施されました。

串木野金山は17世紀半ば頃に島津氏によって開発が始まり、現在は三井串木野鉱山(株)が金の製錬などを行っています。参加者は敷地内にある大正時代に建築された五反田会館などに歴史を感じながら、工場内部の説明に興味深く聞き入っていました。

砂金採り体験では、パンニング皿という砂金を採る皿に砂金が見えると、参加者から大きな歓声が上がっていました。



まちづくり防災課
☎33-5632

第1回目 まちづくりをしもんそや

毎年、市内では市主催のイベントや、まちづくり協議会、自治公民館での地域イベントなど、たくさんのイベントが開催されます。最近は地域に子どもたちが少なくなった、以前のようににぎわいがなくなったなどと感じる方も多いと思われます。

地域で開催される運動会や夏祭りなどは、地域をみんなで盛り上げよう、地域をもっと好きになってもらおうという願いを込めて、地域の方々がみんなで工夫しながら進められています。地域とのつながりを深め、住みやすい地域をみんなでつくりましょう。

本市には、16のまちづくり協議会があり、143の自治公民館があります。地域性や歴史にも違いがあり、活動内容もさまざま、まちづくりにもいろいろな形があります。

地域の子どもや高齢者を地域の皆さんで見守ることも、イベントで楽しみを作ることもまちづくりです。地域の皆さんと楽しみながら、できることから取り組んでみませんか？



湊町夏祭り（湊町ふれあい協議会）